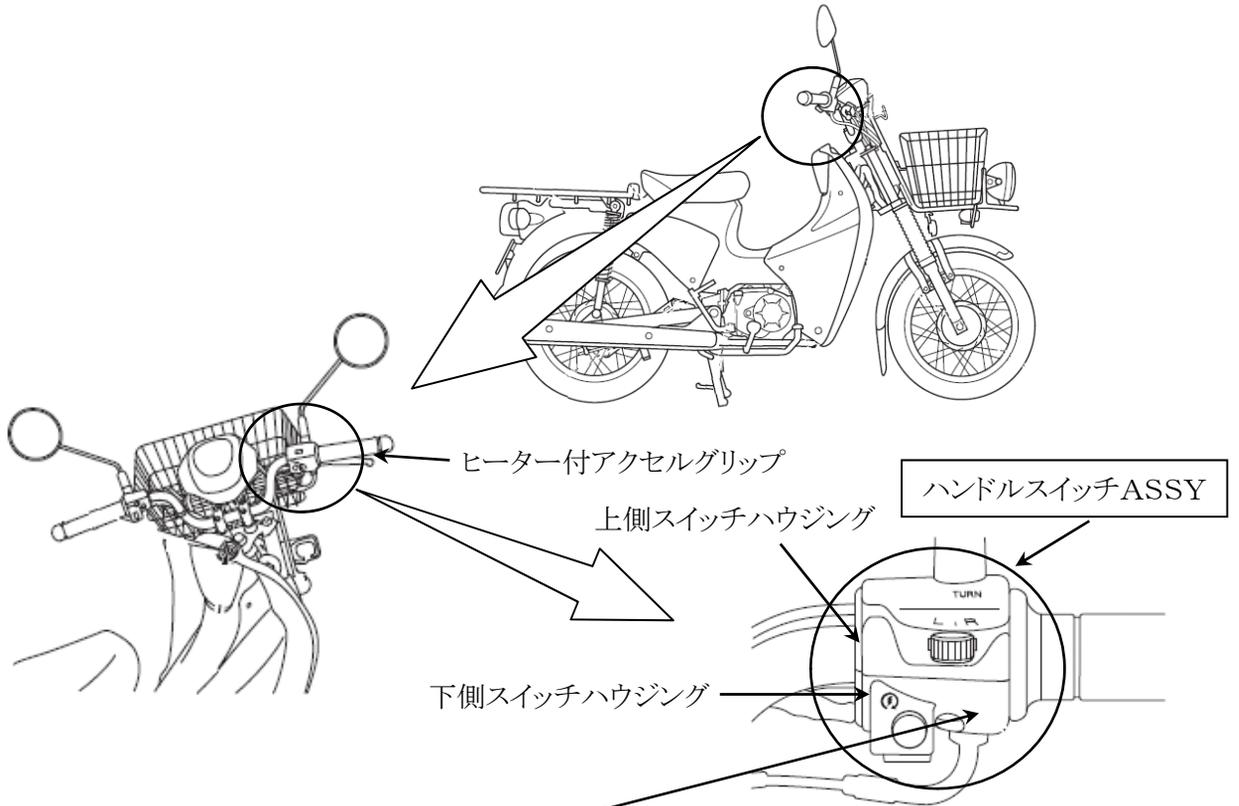


改善箇所説明図

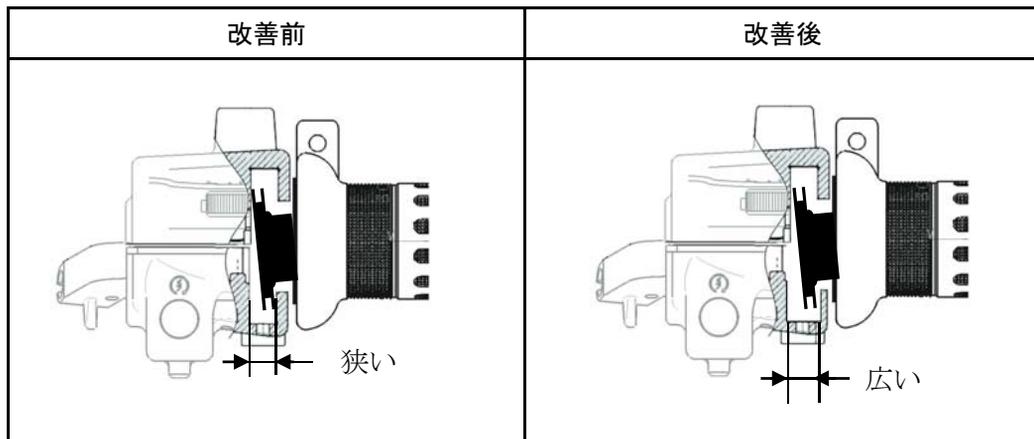


不具合発生箇所

アクセルグリップを保持する下側スイッチハウジングの形状が不適切なため、上側スイッチハウジングに組付けるとアクセルグリップを保持する溝幅が狭くなるものがある。そのため、ヒーター付きアクセルグリップを装着した場合、減速時にアクセルグリップを押さえる力が加わると内部で接触することで、アクセル全開付近の戻りが悪くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、対策品の下側スイッチハウジングを組込んだハンドルスイッチASSYと交換する。なお、対策品の供給に時間を要することから、暫定措置として、上側及び下側スイッチハウジングを接触が起きないように組み直すとともに、アクセルグリップのケーブル巻取り部に潤滑剤を塗布し、部品の準備ができ次第対策品と交換する。



注: は対策部品を示す。

識別: 車台番号打刻部付近に黄色のラベルを貼付ける。